



# コロコロ No.85

平成23年9月版

【発行】 札幌市私立幼稚園PTA 札幌市私立幼稚園連合会  
〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目 札幌市生涯学習総合センター  
(社)札幌市私立幼稚園連合会 http://www.s-youchien.or.jp/ TEL.011-671-3590 FAX.011-671-3591

回で玉入れ参加は終わりになってしま  
いますが今後この「ふれあい交流会」  
を続けて頂き、たくさんの方々に参加  
して楽しんで頂きたいと思ひます。  
最後に、準備・運営をされていた大  
会関係者の皆様、本当にありがとうございました。

## 東区

あかしゃ幼稚園  
納 麻衣子

7月12日、札幌市私立幼稚園PTA連  
合会「ふれあい交流」が晴天のなか、  
つどいで行なわれました。  
私は、今年初めての参加でしたが、「玉  
入れ」というものへの意識が、チームによ  
うにここまで違うものなのだなぁ。と、と  
ても驚きました。きょうこの日の為に練  
習を重ねてきたのだらうと思われる「や  
る気満々のチーム」、この日を無事迎  
えられたことにまず安心をし「出場する  
ことに意義を持つチーム」。そこで私な  
りに思ったことが、やる気満々チームば  
かりだと、大会が殺氣立ったムードになっ  
てしまつかも知れないし、全てのチーム  
が、出場することだけに意義を唱えてい  
たら、大会の盛り上がり欠けてしま  
う気がして…。やはり世の中、全てにお  
いてバランスが大切なんだなぁ。と、改  
めて気づかせていただいた日でした。

私達あかし幼稚園は、笑顔で楽し  
くをモットーに参加させていただきました  
した。久しぶりに清々しい汗を流し、  
園長先生からの差し入れのお弁当。と  
ても充実した一日にすることができま  
した。  
最後に、大会運営に携わって下さっ

た皆様、ご参加・応援下さった皆様、  
本当にありがとうございました。

## 南区

札幌みずまい幼稚園  
矢野 貴恵子

10年前に門をくぐり、少し年の離れ  
た三人目の久しぶりな幼稚園行事…  
P連の玉入れも7年ぶりの参加となり  
ました。  
当日、会場に乗り込んだ時すでに第  
一試合が始まるようでした。自  
家用車組は揃っているものの、園バス  
で到着するメンバーがなかなか来なく  
試合前の待機場所に一人で整列。「お一  
人ですか?」係の方の少々驚いたよう  
な問いかけに「今、来ますので!」内  
心かなり焦っていました。自分に言  
い聞かせるように答えました。

そして、無事にメンバーが次々に到  
着!休む間もなく揃いの法被に着替え、  
すぐに試合へ。本当にギリギリのタイ  
ミングだったと思います。結果は早々  
に籠が立ち上がり周りのチームに拍手  
を送る立場でしたが、爽やかな?汗も  
かいて達成感がありました。  
帰路の園バス利用が限られた時間の  
為、結果も聞かす  
に会場を後にして  
しまいました。が、  
大会運営に携わっ  
たたくさんの方々  
へ、お礼申し上げ  
たいと思います。  
楽しい時間をあ  
りがとうございま  
した。



## 世界が賞賛する日本人

P連会長 大野 浩人



いまや夏の恒例行事と  
なりつつある《ふれあい  
交流会》今年も2300名を越え  
る参加者の皆様に支えら  
れ大盛況のうちに、無事終えることができました。

本日に有難うございました。そして本日に多くの保  
護者の皆様が、子ども達の健全な育ちのために、P  
TAという昨今何かと嫌われ者になりつつある組織  
を支えていただいていることに、心の底から感動と  
感謝を覚えました。

東日本大震災において世界の人々が日本に多くの  
救いの手を差し伸べると同時に、日本人の規律正し  
さと類まれなる道徳観に驚嘆を覚えたようです。

事あるごとに現代の日本の大人に対して苦言を呈  
してきた私は、考えを改め己の未熟さを思い知らさ  
れると同時に、過去の自らの発言に関して申し訳な  
さを感じながらも、自分が日本人であることを改め  
て誇りに感じております。  
日本を訪れる海外からの旅行者は、普段我々が当  
たり前と思っていることに驚きを感じることも多い  
ようです。

例えば、自動販売機が屋外に設置されていること、  
電車の車内で乗客が居眠りしていること、その電車  
が寸分のスレも無く時間通りに目的地に到着するこ  
と、商談の相手が時間通りに現れること、そして大  
多数の子どもが自分の本当の両親と同じ家で暮らし  
ていること。

われわれ日本人にはどれも当然のことであるにも  
かかわらず、他国の方からは少なからず驚きをもつ  
て受け止められることが多いようです。これこそが  
規律を重んじ、公共心と道徳心をしっかりとし身に着  
けた国民性に裏打ちされているからなのです。

皆様の貴重な署名を有意義  
に活用して、次の世代を創  
りあげる担い手である子  
ども達の為に運動を続けてま  
いります。



年度	人数
16年度	102,779名
17年度	81,093名
18年度	87,473名
19年度	92,784名
20年度	95,829名
21年度	86,205名
22年度	84,563名
23年度	集計中

## 話題をおって

認定こども園 まなび、今野 純子

今年の4月から、30年間子どもたちを  
見守ってきた園舎を新築し、認定こども  
園「まなび」として生まれ変わりました。  
新しく導入された給食室では、栄養士さ  
んとともに毎日温かい給食が作られるよ  
うになりました。そして、子育て支援と  
して未就園児を対象に子どもたちと親子  
でのふれあいの場が設けられ、ベテラン  
先生のいる中、地域の方がごなたでも遊  
びに来られるようになりました。  
民間の幼稚園としては初めてとなるO  
歳児からの受け入れとなった園ですが、  
保育園の子どもたちと、幼稚園の子ども  
たちが一緒にクラスを編成し、ともに遊  
んで学んでいる姿はなんの隔りもあり  
ません。

「まなび」では、ひとりひとりの瞳が輝  
くように、という理念を元に大人の目線

今、私たちの子どもを取り巻く環境、とりわけ札  
幌の私立幼稚園児を取り巻く環境は常々申し上げて  
いるように決して恵まれているとは言いがたい状況  
です。しかし、規律正しく、道徳心と公共心にあふ  
れた保護者たちが、声を上げ続けることで、その思  
いは必ずや自治体にも、そして国にも伝わり信じて  
おります。そしてその声が行政を動かしたとき、子  
どもたちが愛するに値する「札幌市」が完成に近づ  
くのだと確信します。

子どもたちがすくすくと成長し、多くのことを学  
び、心豊かな人間になったとき、胸を張って心の底  
からこの街が大好きだと言ってもらえる街を作り上  
げ、次世代に手渡すことこそが私たちの使命に他な  
らないと思っております。

その時が来るまでわれわれ大人は、自分たちにで  
きる精一杯の努力と慈しみを忘れてはいけないう  
と感じます。今、日本の復興のために必死に頑張っ  
ているのと同じように。

## 札私幼P連定期総会

平成23年度札幌市私立幼稚園連合会が平成  
23年5月24日(火)、札幌市生涯学習  
総合センター「ちえりあ」6階講堂を  
会場に開催されました。  
六条祐子手稲区理事の「開会の言葉」  
で開幕し、大野浩人P連会長の挨拶の  
後、ご来賓の札幌市教育委員会町田隆  
敏教育次長と札私幼芝木捷子会長から  
ご祝辞をいただきました。  
秋山亜由美豊平区理事から定足数  
確認報告があり、富丘つよし幼稚園森  
山正美園長を議長に選任し、議事が進  
められました。平成22年度事業及び会  
計収支決算について事務局からの報告  
があり、併せて伊藤洋子監事から適正  
に処理される旨の監査報告がありまし  
た。

さらに、平成23年度事業計画及び会  
計収支予算についても提案があり、原  
案どおり議決されました。  
役員選任では、大野浩人会長が再  
任され、副会長に中山津苗、岡崎由美、  
平田さゆりの各氏と札私幼副会長の前  
田元照氏が再任、新任の白井晴彦氏と  
5名の会長推薦が、満場一致で承認さ  
れました。  
その後新旧役員紹介があり、高野  
ゆう子厚別区理事の「閉会の言葉」を  
もって、定期総会が無事終了しました。  
総会では、「イコール運動」での署名  
10万人達成など子ども達にとって、よ  
り良い環境づくりに向けて、札私幼P  
連の活発な運動展開を新たに誓い合  
いました。

## ふれあい交流会 試合結果

順位	幼稚園名	順位	幼稚園名
1	新琴似 (北区)	7	札幌ルーテル (中央区)
2	琴似中央 (西区)	8	札幌創価 (豊平区)
3	丘珠 (東区)	9	聖ミカエル (東区)
4	茨戸メリー (北区)	10	しろいし (白石区)
5	札幌あおば (厚別区)	11	さわらび (手稲区)
6	さわらび (手稲区)	12	ひばりが丘明星 (厚別区)

## 平成23年度 広報委員

編集長 佐野 淳子 (中央区・S・N)

副編集長 小笠原倫子 (手稲区・さわらび)

委員

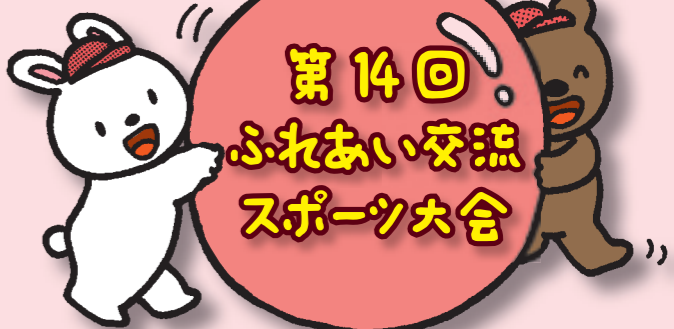
- 前田多美子 (白石区・菊水うち)
- 高橋 幸子 (東区・栄光)
- 本間 薫 (厚別区・いちご)
- 坂本 陽子 (西区・幸明)
- 赤石こみ (南区・真駒内)
- 坂本 瑞貴 (豊平区・第一幼稚園)
- 岡崎 由美 (東区・聖ミカエル)

聖がった夏休みも残り、行事満載の2  
学期が始まりましたね。今年最初のコロ  
ボックルはいかがでしたでしょうか?  
今年も新しい広報委員がスタートし、  
わからないことだらけですが、みんな  
で協力し、和気あいあいと進めていき  
たいと思ひます。  
年間よろしくお願いします。



を子どもの目線にも  
どしてそこにある問  
題や発見と一緒に考  
え対応していきます。  
そして虫博士と慕わ  
れる園長先生は、子  
どもたちが発見する  
自然の神秘をいつも  
目を細めて見守って  
かけています。子ど  
もたちに対する思い  
は50年教育に携わってきた熱い信念がある  
がゆえ話はず長くなりやすいですが、何でも  
相談のついていたいただける園長先生です。  
建物は近代的になりましたが、生き物と  
触れ合うことでそこにある自然の大切さや  
自然の中で子どもたちが自ら生きる力を育  
てたいという思いは30年を過ごした「まな  
び」ならではのめざす保育がかわらずにあ  
ります。  
小さいスペースですが、子ども達が大好  
きな本のコーナーもありますのでお気軽に  
見学しに来て下さい。

# 第14回 ふれあい交流 スポーツ大会



## 厚別区

第2あつべつ幼稚園  
新 雅美

晴天の暑さの中、今年も7月12日に「ふれあい交流会」がつどいむで行われました。幼稚園歴五年目の私は過去に一度応援で行きましたが今年は初めて選手として参加しました。

私たち第2あつべつ幼稚園は昨年同様、幼稚園のキャラクター「やすらぎくんジャー」Tシャツを着て、参戦してきました。そして、こちらもまた昨年同様練習一度もしてません。(笑)練習した方がいいのかなあ、玉が入るのかなあとちょっと不安でした。そんな事を感じながら会場へ着くと、久しぶりにドキドキ。緊張感が…(笑)他園の気合の入ったプレーを見ながら「せーのー」って言うてから投げようねってその場で作戦会議。かけ声は、自声の大きい私が言う事になり、声の大きさを

手に「上位入賞!もしくは好成績を目指そう!」という無謀にも近い目標を持って、本番に挑みました。というのも、それまで練習は一度も行わなかったからです。試合直前に少し不安になったので、かけ声の打ち合わせだけ済ませました。試合が近づくとつれて次第にスポーツ魂に火がつき、みんなの瞳がキラキラして、緊張感の中でも気持ちひとつになったのを実感しました。

いざ、試合が始まると全員が声を合わせ、汗を流し、呼吸を忘れてしまうくらい真剣に取り組む姿があり、最後には大笑いしながら、玉入れの試合を終えることができました。

結果は、上位入賞の目標は果たせませんでした。20位と43位という歴代の中では好成績を挙げることができ、偶然にも見事同じ景品を両チーム共が頂くことができました。この時、少しの打ち合わせでも結果を出せる、我が幼稚園のお母様方の底力を感じました。

振り返ってみると、あの短い時間の中で生まれた連帯感や団結力を感じる機会は、この先多く経験することは無いと思います。あの日のメンバーの笑顔も、玉入れも、私にとって幼稚園生活での良い思い出になりました。このような経験ができたのも、子どもの存在があったおかげだと、改めて実感しました。また、さゆり幼稚園の明るく優しいお母様方と共に戦えたことを心から嬉しく思います。

最後になりましたが、大会の準備や運営にご尽力いただきました関係者の皆様、ご来賓の皆様にご挨拶すると共に、今年ご

が役に立つ時  
がきました!

そして本番。  
一回目、予想  
以上にたくさ  
ん玉が入り、  
みんな大興  
奮!!二回目も、一回目よりはちよっぴ  
り少なかったけれどみんな大満足、そ  
してとても嬉しかったです。みんなと  
心が一つになって楽しめた事に感謝し  
ます。私自身楽しい思い出がまた一つ  
増えました。また、あまりにも楽しかつ  
たので来年も出ようか考え中です。  
楽しい時間をありがとうございました。



最後にになりましたが大会運営に携  
わった皆様ありがとうございました。

## 北区

茨戸メリー幼稚園  
九島 順子

今回、二度目の出場となりました。昨  
年から「練習」というものを開始し、これは  
毎年恒例にしたいと思っていたので、もち  
ろん私の希望で行いました。園には玉入  
れの力ごと玉をレンタルして頂き、わがま  
まを言ってお園のホールをお借りし、園児の  
声援のなか汗をかいて練習できた事に感  
謝しております。

さて当日。わが幼稚園の2チームはお  
揃いのTシャツでもないため目印もなく、  
初対面のメンバーとの挨拶、おまけにドー  
ムの人工芝にレジャーシートを敷かない  
まま直に座るなんて他のチームにはな  
かったでしょう…チームのみなさん準備  
不足ですみませんでした。

参加下さいました、さゆり幼稚園のお母様  
方にも深く感謝申し上げます。

## 千代田区

さわらび幼稚園  
市川 早希子



「ふれあい交流会」  
がつどいむで行わ  
れ、さわらび幼稚園  
は45名・3チームで  
参加しました。

練習では、かごの  
高さに驚き!自分の  
玉が届かない事に落  
ち込み…。太ももと  
二の腕が痛むダメー  
ジを受けながらも各  
チーム結束を固めた  
練習でした。園長先生から「楽しくね!」  
の言葉に火がつき、画用紙でチーム名  
にちなんだかぶり物「キャンディー」  
わらび・かとちゃんのハゲスラ」を作  
製。大会当日は園児達のかわいい声援  
に見送られ会場へ向かうバスの中でか  
ぶり物をお披露目し大盛り上がりで会  
場へ到着。かとちゃんに身を包み乗り  
込んだ私への冷たい視線も右から左へ  
受け流し、開会式・ラジオ体操終了後  
のズラの中はすでに汗だく…。そして  
いよいよ玉入れ本番、各チーム練習通  
りの素晴らしいチームワークで懸命に  
投げ込んだ結果、なんと!!2チームが  
決勝に進む事が出来ました。チームの  
団結力が実を結び順位は1-16チーム  
中、キャンディーズが6位!!かとちゃ  
んス1位!!と大健闘しました。参加し  
てくださった皆さん楽しい時間をあり

練習の甲斐あって、周りの雰囲気や  
他チームの声援などに影響されること  
なく、練習通りに声を揃えて玉を投げ  
ることが出来ました。これは決勝にい  
ける!と密かに思いつつもあまり自信  
はありませんでしたが、見事チーム  
が決勝進出でした。

やるからには昨年の7位入賞を超え  
たいと願う中、決勝進出の12位から順  
位を聞いても園の名前が呼ばれない。  
7位も呼ばれない。4位で呼ばれた!  
みんなビックリしながらも、帰りには  
石屋製菓の賞品欲しかったね♪なんて  
生意気なことを言いながら帰る足取り  
はさわやかで、来年の玉入れに向けて  
話しをした素敵な時間でした。

園の先生方を始め、つたない役員を  
指導して下さいました関係者の皆様、そし  
て練習から参加してくれたチームの皆  
さんに感謝致します。ありがとうございました!!

## 白区

菊水いちい幼稚園  
阿部聡子&村上明美

7月12日、つどいむで札幌市内にあ  
る幼稚園から116チーム(1チーム  
15人)の他、関係者や応援の方も多数  
来ていて、思った以上に熱気に満ち  
溢れている雰囲気でした。

我が幼稚園からは、A・Bの2チ  
ームが出場し、お揃いのバンダナと手持  
ちの衣装でヤル気満々、ぶっつけ本番  
で挑みました!目的は親睦を図る事と  
はいえ、いざ試合が始まれば各チーム  
気合入ります。急遽、作戦会議とリハー  
サルでテンションも上がり、一致団結

がとうございました。  
最後になりましたが、大会運営に携  
わって下さった皆様、ご苦労様でした。

## 豊平区

ふくずみ幼稚園  
堀内 理美子

たかが玉入れ、されど玉入れ。特別  
な道具も不要・年齢不問。ルールみ  
んなで籠に向かって玉を投げる。  
とても単純で簡単に思えるこのスポー  
ツ。いざ挑戦してみると、なんとも難  
しい。頭上の籠に玉が届かない?なぜ  
出来ない?  
今年こそ上位入賞。狙うぞ優勝!と  
熱い思いが集まった有志達。  
練習ではイメージ通りに行かず悪戦苦  
闘。おまけに、普段使っていないあち  
こちの筋肉が悲鳴をあげる始末。  
でも…玉入れがこんなに楽しく、  
熱くなれるスポーツだったなんて…。  
単純だからこそ面白い。15人全員の息  
が合わなければ、玉も私達にそっぽを  
むく。

大の大人が「せえのおで」と声を合  
わせ、玉を拾い、投げる。ただそれだ  
けの事に夢中になった。1人では決し  
て出来ず、楽しくない。仲間と参加す  
るから楽しいの  
だ。  
練習後も本番終  
了後も、玉入れつ  
て楽しいね!来年  
も絶対参加した  
い!と、普段怒っ  
てばかりのお母さ  
ん達の顔も、汗ま

となりました。ママのパワーはスゴ  
イ!!(笑)

両チームとも全力を出しきりました  
が…結果は予選敗退に。しかし、気持  
ちの良い汗を流し、和気藹々と玉入れ  
を楽しめた事は何よりも財産になりま  
した。チーム全員が一つの事をする「み  
んなで力を合わせる楽しさ」に触れま  
した。もちろん沢山山応援してくれた皆  
様にも感謝、感謝です!!

大会後、子どもから「幼稚園から玉入  
れ応援していたよ!」という言でまたま  
た感動!!(感涙)翌日、ちよっぴり筋肉  
痛になりました(笑)、皆が口々に「ぜ  
ひ、来年もま  
た参加したい  
ね!」と言っ  
て、今から意  
欲满满です。  
最後に、大  
会運営等に携  
わって下さい  
ました皆様あ  
りがとうござ  
いました。

## 中央区

さゆり幼稚園  
進藤 由紀

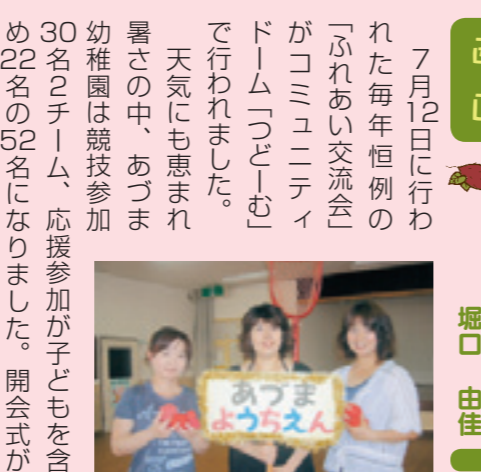
今年も札幌市私立幼稚園PTA連合  
会玉入れ交流会が行われました。私は  
今回初めての参加でしたので、会場の  
熱気や、応援の方々を含めた参加者の  
人の多さに大変驚きました。  
今年、2チームで参加することにな  
った私達は、それぞれの服装の色を統一  
し、チームで決めた色のハチマキを片

みれの笑顔であった。  
今度は子ども達と一緒に玉入れがした  
いと思った母でした。

7月12日に行わ  
れた毎年恒例の  
「ふれあい交流会」  
がコミュニティ  
ドーム「つどいむ」  
で行われました。

## 西区

あつま幼稚園  
堀口 由佳



幼稚園は競技参加  
30名2チーム、応援参加が子どもを含  
め22名の52名になりました。開会式が  
始まり会長さん達のお言葉を頂いた後、  
去年はエアロビでしたが今年はラジオ  
体操で皆体をあたためました。  
あつま幼稚園は数年前からこのふれ  
あい交流の玉入れに参加させて頂いて  
るのですが、例年特に練習する事もな  
く楽しみながらお母さま達との仲を深  
めていこうという思いが強いせいか試  
合直前でも応援席でも全員がリラック  
スモードでした。  
玉入れが始まり、合図のピストルが  
なると私達は必死に玉を投げ上げ続け  
ていましたが、なかなか玉はカゴに入  
らず残念な結果になってしまったので  
すが、試合が終わった後に皆からは「ひ  
さびさの玉入れ楽しかった。」と声が聞  
こえてきた瞬間とても嬉しく思いまし  
た。  
来年、私の子どもは卒園なので、今